



出席者

ハッサン・アボットさん (イラク人ジャーナリスト)

別所 菜未さん (いのこの里・介護士)

山地 佑佳さん (こばと保育園・保育士)

前田 博史さん (吹田市職員労働組合執行委員長)

平和座談会

武器は絶対にダメ

日本国憲法のすばらしさを痛感

泥沼化するイラク戦争。日本は「テロとの戦い」を大義名分に、いまだに航空自衛隊がアメリカの戦争に協力しています。そんなイラクから一人のジャーナリスト、ハッサン・アボット氏が来日していました。米軍、テロリスト双方から命を狙われながらも、現場からイラク戦争を告発している彼は「戦争をしない、武器を持たない」という憲法9条こそ、イラクに必要」というメッセージを残して、戦火のイラクへ帰国しました。

イラクに石油があるから戦争が始まった

米軍は「その日の気分」でイラク人を撃つてきます



日本からの義援金でイラクへ食料を届けました(バグダッド)

前田 本日は現在来日中のイラク人ジャーナリスト、ハッサンさんを囲んで、平和座談会を企画しました。ハッサンさん、まずフルネームからお伺いしたいのですが？

ハッサン ハッサン・アリー・ハッサン・アボットといいます。

前田 イラクの方の名前って長いですね。

ハッサン 自分の父親、祖父、曾祖父の名前を連ねていくので長くなります。アラブでは「ムハンマド」という名前が一番多いのですが、中には「ムハンマド・ムハンマド・ムハンマド」さんもあります(笑)。

四度目の訪日。留学時、日本の古典芸能を学んでいたが、戦争が起きて…

前田 今回で来日は何回目ですか？

たくなります。さつきアメリカ兵は「人を殺すのをためらわない」とおっしゃいましたね。何でやる？一人殺してしまえば、人間が変わってしまうのでしょうか？アメリカ兵も人間のはず。戦争が人を狂わせてしまうのでしょうか？

ハッサン アメリカ人が上で、イラク人は下層だと思ってるようです。私たちは人間だ！イラク人にも人権がある！と叫んでも、米兵はそのイラク人を敵だと思ってるので、容赦なく撃つてくるのです。

米兵は、かつての日本兵と同じ、日本軍も他国の住民を虐殺、虐待

前田 戦前の日本軍と似てますね。中国や韓国で、日本軍は時に地元住民を虐殺、虐待し、人権を蹂躪していたと言われています。「日本人が上で、中国人は下層」という意識があったからでしょうね。しかしあれから62年も経過しています。民主主義や人権意識が高まっているはずなのに、現実には



ハッサン・アボットさん

ハッサン 4度目です。2003年イラク戦争が始まった年、私は岐阜大学の留学生でした。日本の古典芸能、能を学んでいたのです。シェイクスピアは世阿弥に触発されて物語を書いているんですよ。そんな素晴らしい日本文学を勉強しているときに、イラク戦争が始まったのです。私は気が気ではなく、家族のことが心配でした。それで、修士号を取った後、イラクに帰ってジャーナリストとして戦争被害を告発しています。

山地 戦争展でイラクの写真を見たら、DVD「イラク」戦場からの告発」を鑑賞して、あまりの悲惨さに声が出ませんでした。劣化ウラン弾でがんになった子どもや、アメリカ兵に背中を撃たれ、下半身不随になった子どもの姿を見て、ショックを受けました。今日はハッサンさんからイラクの現状を聞かせてもらおうと思っただけでやってきました。

ハッサン イラクの現状は一言では言い表わせません。無実の人々

だそんな差別意識が米軍の中にあるのでしょうか？

ハッサン アメリカがマスコミをうまく使っているからです。9・11テロ事件で恐怖をあおり、「イラク人の中にはテロリストが多い」「イスラム教は怖い」といったイメージを振りまきました。ブッシュ大統領が「テロとの戦い」と言い出し、アメリカは正義でイラクやアフガンは悪だという図式を作りました。だから米兵は「アメリカは正義だ」と思い込んでいるのです。

例えばアメリカがロケット砲を打ち込んで家族全員を殺したとします。アメリカは「その家はテロリストの拠点だった」とテレビで発表します。しかし真実は一般市民の家だった。家族全員で食事している途中だったのです。そんな「事件」が多発しています。

前田 アメリカの空爆、誤爆も恐ろしいですね。「自爆テロ」も頻発していますね。日本では「自爆テロで50人死亡」などと犠牲



別所 菜未さん

「人を殺すのをためらわないって?」。米軍も人間の**はず!戦争が人を狂わすのでしょうか?**

者の数字しか報道されなくなりました。実際のところ、なぜそんなに自爆テロが増えたのですか？

テロリストは周辺国からの外国人。自爆テロに麻薬を使用し洗脳も

ハッサン アルカイダなどのテロリストは、周辺国からやってくるのです。ほとんどがイラク人ではありません。サウジアラビア、エジプト、シリア、そしてイランなどから送り込まれてきます。先日私の故郷ヒララの市場で自爆テロがあり、多くの女性や子どもが殺されましたが、犯人はサウジからやって来た青年でした。サウジはスンニ派の国で、シーア派をたくさん殺せば天国にいけると洗脳されて、そして麻薬を使って気持ちを高めてテロを行ったようです。サウジはお金持ちの国なので、ビンラディンはじめ、テロリストにもお金が流れていくようです。

私の友達にイラクの警察官がいます。ある日検問で青年テロリストを捕まえました。腰のベルト

が理由なく殺されています。自爆テロに巻き込まれたり、アメリカが空爆したり、ただ通りを歩いていただけでアメリカ兵に銃殺された人もいます。

山地 えっ、道を歩いていただけで撃ち殺されるのですか？

ハッサン アメリカ兵は「射撃訓練のように」撃つてくる場合があるのです。あるいは「その日の気分」で撃つ場合も。アメリカ政府がバグダッドで行っていることは、いわば「イラク人掃討作戦」です。とりわけ普通の市民が殺されるのです。

山地 なぜアメリカはそんなひどいことを？

ハッサン みなさんご存知のように、「イラクに石油があるから」です。イラク石油の掘削のコストは安く、油質も良い。埋蔵量はサウジアラビアについて世界第2位ともいわれているのです。だからアメリカはこの石油利権を押しさえるためには何でもやります。米兵はイラク人を殺すことにためらいません。イラク人は「アメリカ出ていけ!」と抵抗するので、余計に殺される確率が高まります。デモ隊にまで発砲するのですよ。

別所 イラクの悲惨な現状がテレビなどで流れると、見ているのがつらいので、チャンネルを変え

が理由なく殺されています。自爆テロに巻き込まれたり、アメリカが空爆したり、ただ通りを歩いていただけでアメリカ兵に銃殺された人もいます。